

『2024年11月足立NPOフェスティバル』活動報告書

2024年11月

認定NPO法人ピースプロジェクト

理事長 加藤 勉

平素は大変お世話になっております。

例年足立区で開催される『足立NPOフェスティバル』に今年も参加いたしました。

NPOフェスティバルは足立区内で活動するNPOの団体紹介と活動内容を広く足立区民に知ってもらう場として開催されています。

当法人は外会場「梅島公園」のテントブースにて団体の活動内容として2021年3月より足立区西新井で運営している子ども食堂『ピース食堂』の子ども支援活動に加え、今年1月から実施した「能登半島地震緊急支援活動」についても紹介し、ピースプロジェクトの活動全体を知っていただく良い機会となりました。

団体紹介のあと、毎年好評の豪華景品が当たる「くじ引き」を実施いたしました。

ここに活動報告書として活動内容をご報告申し上げると同時に、改めて皆様からのご支援、ご協力に対する感謝を申し上げます。

【概要】

- 活動期間：2024年11月16日(土)・17日(日)
- 実施回数：各日11回（計22回）
- 景品提供数：500点以上
- 参加者数：約300人
- 売上額：89,200円（くじ引き参加代として）

【協働・支援パートナー】

- 足立区NPO活動支援センター

【活動内容】

11月16日(土)・17日(日)

- ・ 9:00～：スタッフ集合、器材・景品搬入、テント準備
- ・ 10:00～15:00：活動紹介ならびにくじ引き実施
- ・ 実施スケジュール

10:00/20/40	11:00/20/40	12:00/20/40
12:40～13:40 昼休憩	13:40	14:00/20/40

- ・ 各回の始めにピースプロジェクトの活動内容を動画、スライドを使用して紹介し(10分)、参加した方を対象にくじ引きを実施。
- ・ くじ引き参加料：子ども1回300円、大人1回500円、1回につき2回まで参加可能

《活動紹介》

- ・ 能登半島地震支援(炊き出し支援) 活動一動画上映 (5分35秒)

2024年9月に足立区地域包括支援センター伊興様主催の「令和6年度第3回絆の安心ネットワーク連絡会」にて共同で実施したオンラインセミナーで使用した動画(20分)の冒頭部分を編集したものをプロジェクターでテント内へ投影し、口頭説明を加えながら実施した。

-主な内容-

- ・ 震度7の大地震が発生した際の交通道路状況、通行止め等で物流が止まるとどうなるか
- ・ 到着直後(1/3)の避難所の実際の様子、体育館に350人人が集まるとどうなるか
- ・ 水道・電気・通信が止まった状況が続くとどうなるか
- ・ 各家庭での水・非常食準備の重要性
- ・ 首都直下型地震が起きたときに東京がどうなるかを具体的にイメージした防災訓練・備蓄について

- ・ ピース食堂一スライド上映 (4分30秒)

足立区西新井で実施しているピース食堂について、パワーポイントスライド6枚を使用し、口頭説明を加えながら実施した。

-主な内容-

- ・ 子ども食堂とはどういうところか
「子どもが無料でごはんが食べられるところ」と子供たちに覚えてもらう
- ・ ピース食堂が実施する子ども食堂の在り方3つ
1. 誰でも参加できる子ども食堂として子ども食堂の垣根を下げる



【会計概算】

《支出》 合計¥43,569

1. くじ引き景品代 ¥16,569
2. 有償ボランティア費用 ¥24,000 (一人当たり¥6,000 x 4名)
3. パーキング代金 ¥3,000 (1台分、1日当たり x 2日)

《収入》 合計¥89,200

くじ引き参加料

11/16 (土) ¥35,050

11/17 (日) ¥54,150

【所感】

2021年から当法人がスタートさせた、子ども食堂事業『ピース食堂』の活動拠点が足立区であることから、あだちNPOフェスティバルには子ども食堂の初年度から参加している。

1年目は単にくじ引きの出店ブースだったものを、2年目からくじ引きの前に「NPO紹介」を実施するようにしたことは、「広く足立区民に各NPOとその活動を知ってもらうためのフェスティバル」という主催側の主旨に沿った形になったと感じる。

- ・ピースプロジェクトの足立区外での活動内容

- ・ピース食堂（子ども食堂）の内容紹介

今年は能登半島地震緊急支援を実施したこともあり、緊急支援に係る解説が主となったものの、この2点を軸として、NPOについて、また、NPOはボランティア活動を含めて市民活動の場所であることを子供たちも含めて参加者に直接伝えることができるのは、NPOから一方向で情報発信するのSNS等とは異なる点において、貴重な場でもある。

2日目、今年新たに実施した動画投影・スライドを使用した説明のためのプロジェクター機器にアクシデントが発生したものの、ボランティア2名のご助力により事なきを得て終了したことは次年度への教訓となった。

しかし、ピースプロジェクトの能登半島地震緊急支援の内容も含め、いくつかその場で質問が寄せられたことから、結果としてスライドを用いた解説が功を奏したと考えられ、また、参加者（区民）のNPOの活動内容への関心の高さも窺えた。